KENWOOD

マルチメディア オーディオシステム

AS-IP70

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の
「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。
なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。

http://jp.my-kenwood.com

もくじ

お使いになる前に

音楽を聞く/写真、ビデオを観る

もっと使いこなす

メンテナンス

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

安全上のご注意

⚠警告

異常のときは

異常が起きた場合はACアダプターを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き電池を取り出す。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグについて

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

ACアダプターの電源プラグは交流100ボルトに接続する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

設置について

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線やACアダプターには触れない

感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落としたら AC アダプターを抜く

AC アダプターや機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜き、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプターについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

AC アダプターを熱器具に近づけない

AC アダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。ケースやコードの被服が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

設置について

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

長期間使用しないときは AC アダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器や AC アダプターのケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"＋"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池を直射日光や火のそばなど高温となる場所に置かない

発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

⚠注意

音量について

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

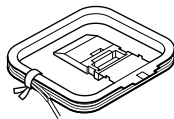
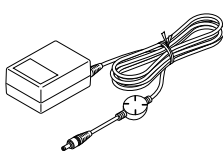
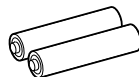
お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする
3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

付属品について

付属品

AMループアンテナ
（1個）

ACアダプター
（AC-060300A：1個）

乾電池
（単4形：2本）

設置するときは

本機を設置するときのご注意

- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器およびACアダプターを設置するときは、以下のことをお守りください。放熱が十分でないと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 機器の上面から、50cm以上スペースを空けてください。

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

保管とお手入れ

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

汚れたら

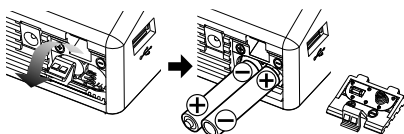
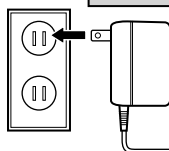
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

接続のしかた

接続上のご注意

接続が終了するまで、ACアダプターの電源プラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り（オフボタンを押す）、電源プラグをコンセントから抜いてください。

交流100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

⚠ 注意

・この製品には、付属のACアダプター「AC-060300A」をご使用ください。
・付属のACアダプターはAS-IP70専用です。
・付属のACアダプターを他の機器で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

各部のなまえと働き

電源の入れかた

- ACアダプターを接続すると電源がオンします。
音楽を聞いたり写真、ビデオを観たあとは、ALARM（アラーム）/オフボタンを押します。時計表示に切り替わります。

VOL −/＋ （音量調整）

- 音量を調整します。+を押すと音量が上がり−を押すと音量が下がります。

SNOOZE（スヌーズ）/ BRIGHTNESS（ブライトネス）

- アラーム設定時間になるとアラームが動作します。アラーム動作中に押すとスヌーズで設定した時間を最大5回までアラーム時間を延長します。
- ディスプレイの明るさをボタンを押すたびに3段階で切り替えます。

SYSTEM （システム）

- 言語設定や本機を初期状態に戻します。

ALARM SET（アラームセット）

- ALARM(アラーム)タイマーを設定します。

設定

- 時計や壁紙、USB/SDなどの再生モードを設定します。

スリープ

- スリープタイマーを設定します。押すたびに90分/60分/30分/15分/解除の順に切り替わります。

表示部(ディスプレイ)

ALARM（アラーム）.1/2 オン/オフ

- ALARM(アラーム)1,2をオンまたはオフします。押すたびにオンとオフに切り替わります。

iPod/iPhone

- iPod/iPhoneの音楽を聞いたりビデオ、写真を観るときに切り替えます。

USB/SD(音楽)

- USBまたはSDの音楽を聞くときに切り替えます。

USB/SD(写真)

- USBまたはSDの写真を観るときに切り替えます。

►/II または 決定

- USB機器/SD/iPod/iPhoneの再生/一時停止をします。
- 設定項目を決定します。

I◄◄ / ►►I

- 曲、写真、ビデオをスキップします。
- 押し続けると早送り、早戻しします。
- ラジオを聞いているときは、放送局を選びます。
- 各種設定を選びます。

▲ / ▼

- 各種設定を選びます。

ラジオ（AM/FM）

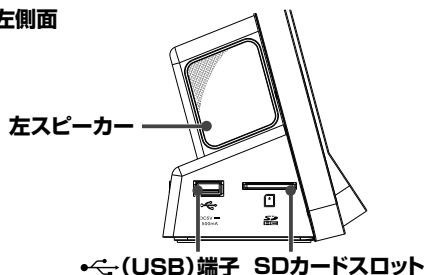
- AMまたはFM放送を聞くときに切り替えます。

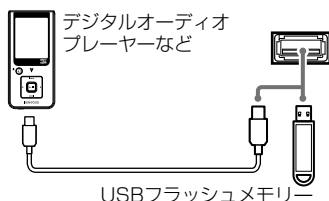
時計

- 時計を表示します。押すたびに時計表示が切り替わります。

ALARM（アラーム）/オフ

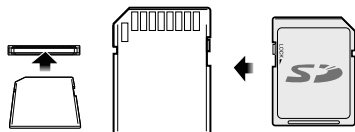
- 設定したALARMを解除します。
- 音楽や写真やラジオなどの再生を終了します。

左側面

(USB)端子

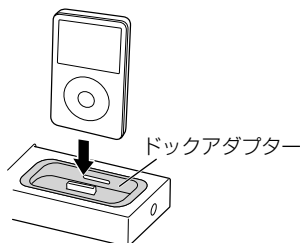
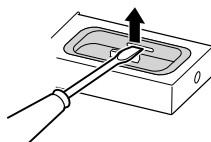
USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、(USB)端子に接続します。

■ **USB機器を取り出すには...**
停止後、USB機器を引き抜きます。

- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。
- USBハブなどを介してUSB機器を認識させることはできません。

SDカードスロット

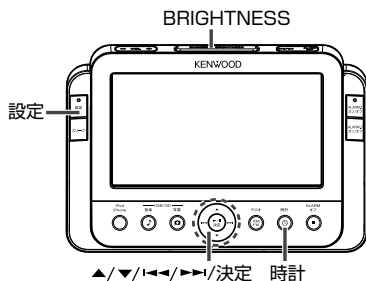
音楽や写真の入ったSDカードを、SDカードのラベル面を下にしてSDカードスロットに差し込みます。

■ **SDカードを取り出すには...**
停止後、SDカードを引き抜きます。

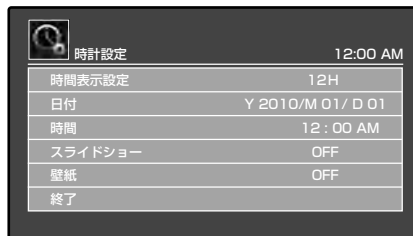
iPod/iPhone取付部

側面のケースを押すとiPod/iPhone取付部が取り出せます。iPod/iPhoneに付属または市販のドックアダプターを取り付けてからiPod/iPhoneを取り付けます。

■ **ドックアダプターを取り外すには ...**
ドックアダプターのスリットに、マイナスドライバーなどを差し込んで上に引き上げて取り外します。

- ドックアダプターを取り付けないで本機にiPod/iPhoneを接続すると、コネクタ部が破損するおそれがあります。必ずドックアダプターをご使用ください。
- iPod/iPhoneにカバーやケースなどのアクセサリーを付けたまま本機に取り付けることはできません。必ず取り外してください。
- iPodの抜き差しは、ていねいに行ってください。
- お使いのiPod/iPhoneのソフトウェアを、最新のバージョンにアップデートしてください。
- iPod/iPhoneの外部ビデオ出力設定は、iPod/iPhone側のセッティングが必要です。iPod/iPhoneを本機から取り外してiPod/iPhoneでビデオを再生するときは、設定を戻してください。

時計を合わせる

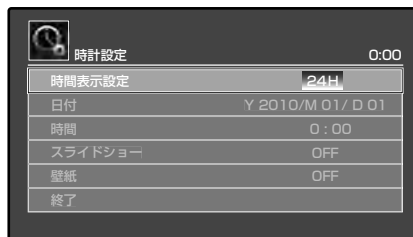
時間表示/日付/時間を設定する（時間表示/日付/時間）

本機は時計やアラームタイマー機能を搭載しています。初めに時間表示設定(12/24時間表示)、日付、時間を合わせます。

1 時計設定モードにする

[設定] を押し時計設定メニューを表示させる。

2 時間表示を設定する

初期設定は12時間表示です。24時間表示に変更するときに設定します。

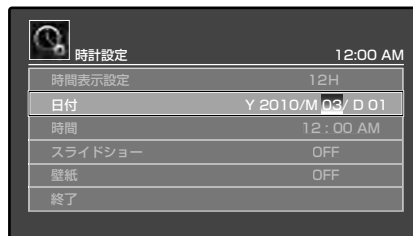
[▲/▼]で"時間表示設定"を選び[決定] を押す。

[▲/▼]で"12H"または"24H"を選び[決定]を押す。

3 日付（年/月/日）を設定する

[▲/▼]で"日付"を選び[決定] を押す。

Y(年)/M(月)/D(日)の順に設定します

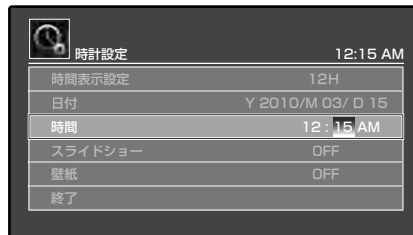
[▲/▼]を押して設定し [⏮/⏭] を押して項目を移動します。

日付の設定が終了したら[決定]を押す。

4 時間（時、分）を設定する

[▲/▼]で"時間"を選び[決定] を押す。

時/分の順に設定します

[▲/▼]を押して設定し [⏮/⏭] を押して項目を移動します。

時間の設定が終了したら[決定]を押す。

■ 設定を終了するときは ...

[▲/▼]で"終了"を選び[決定] を押す。

- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度、時計を設定してください。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

画面表示を切り替える

ディスプレイの明るさを設定する(BRIGHTNESS)

表示部の明るさを3段階で調節します。

1 明るさを設定する

[BRIGHTNESS] を押す。

押すたびに明るさが切り替わります。

表示モードを切り替える（時計）

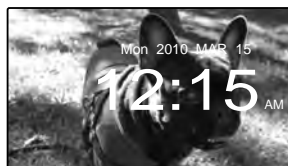
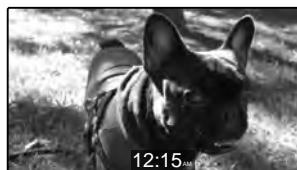
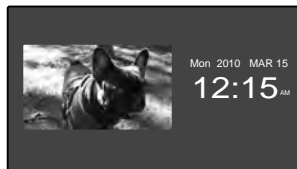
写真を観ながら曲を聞いたりすることができます。

1 表示モードを切り替える

[時計] を押す。

押すたびに次の順で切り替わります。

時計表示のときの表示例

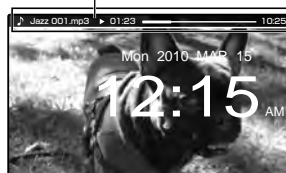
（壁紙を設定した場合 24ページ）

モード1

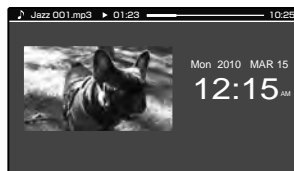
モード2

モード3

音楽再生のときの表示例

（壁紙を設定した場合 24ページ）

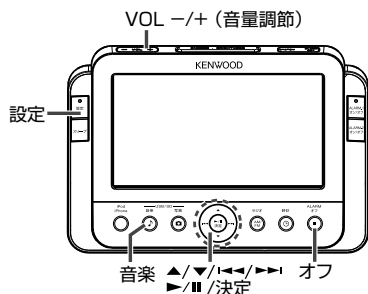
モード1

モード2

モード3

- iPod/iPhoneの写真またはビデオを再生中に表示モードを切り替えるとiPod/iPhoneは停止します。

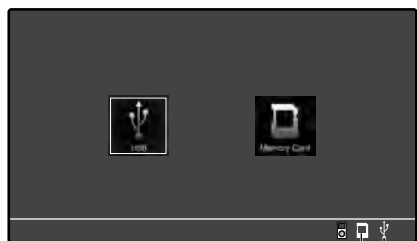
USB/SDを聞く

曲を聞く

USB機器、SDカードの曲を再生します。

- USB機器/SDカードはあらかじめセットしておきます。

1 音楽を選ぶ

[音楽］を押す。

2 USBかSD(Memory Card)を選ぶ

[⏮/⏭］で選び[決定］を押す。

SD/USB表示

3 曲を選んで再生する

[▲/▼]で曲を選び、[決定］を押す。

■ 再生中の表示例

■ 再生中の操作

一時停止	再生中に［►/ǁ］を押す。 再度押すと解除します。
早送り/早戻り	再生中に［⏮/⏭］を押し続ける。
曲のスキップ	［⏭］を押す。
前の曲へ戻る	［⏮］を連続して2回以上押す。
曲の頭出し	［⏮］を1回押す。

■ 再生を停止するには ...

［オフ］を押す。

- 再生可能なオーディオファイルがないときは、再生は開始されません。再生できる曲（オーディオファイル）については「再生できるファイル」をご覧ください。(26ページ)
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生する場合があります。

音楽設定を切り替える

曲をくり返し聞いたり順不同に再生することができます。

- 音楽を選びUSB、またはSDに切り替えておきます。

1 音楽設定を表示する

停止中や再生中に[設定] を押す。

2 再生モードを選ぶ

[▲/▼]で再生モードを選び[決定] を押す。

ノーマル	通常の再生をします。
リピート1曲	再生している曲を繰り返し再生します。
リピートすべて	全ての曲を繰り返し再生します。
シャッフル	曲を順不動に再生します。
終了	メニューを終了します。

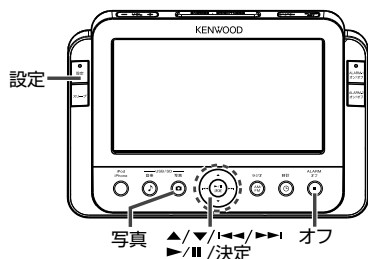
■ **設定を終了するときは ...**

[▲/▼]で"終了"を選び[決定] を押す。

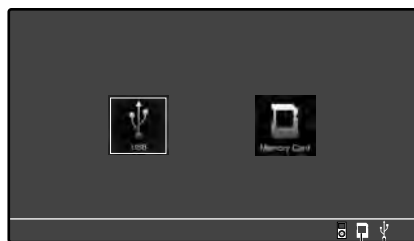
USB/SDを観る

写真を観る

USB機器、SDカード内の写真をファイル名順にスライドショーで再生します。

- USB機器/SDカードはあらかじめセットしておきます。

1 写真を選ぶ

[写真] を押す。

2 USBかSD(Memory Card)を選ぶ

[⏮/⏭] で選び[決定] を押す。

3 写真を選んで観る

[▲/▼/⏮/⏭]で写真を選び、[決定] を押す。

■ **再生中の操作**

スライドショーの一時停止	再生中に [►/II] を押す。 再度押すと解除します。
写真のスキップ	[⏭] を押す。
前の写真へ戻る	[⏮] を押す。

■ **再生を停止するには ...**

[オフ] を押す。

- 再生可能な写真ファイルがないときは、再生は開始されません。再生できる写真については「再生できるファイル」をご覧ください。(26ページ)

写真設定を切り替える

写真の回転やスライドショーなど写真の再生方法を設定します。

- 写真を選びUSB、またはSDに切り替えておきます。

1 写真設定を表示する

停止中や再生中に[設定] を押す。

2 写真設定モードを選ぶ

[▲/▼]で選び[決定] を押す。

回転	観ている写真を回転させます。"回転しない"/"90度(時計回り)"/"180度(時計回り)"/"270度(時計回り)"
スライドショー間隔	写真をファイル名順に設定した時間の間隔で再生します。 "5秒"/"10秒"/"15秒"/"30秒"/"1分"
表示モード	写真の表示モードを変更します。"フィット"(写真全体を表示します)/"フルスクリーン"(画面全体に表示します)

壁紙	壁紙を設定します。あらかじめ本機の設定の壁紙設定をオンにしておきます。(24ページ)
スライドショー切替	スライドショー効果を設定します。"ロール"（写真を巻き取りながら切り替えます）/"ページ"(ページをめくるように切り替えます）/"ズーム"（写真の中央部分から切り替えます）
B.G.M	写真再生中にUSB/SD/iPodの曲を再生します。 "ON"/"OFF"/"再生モード"

■ **設定を終了するときは ...**

[▲/▼]で"終了"を選び[決定］を押す。

• 壁紙を設定するとスライドショーを終了します。

B.G.M.を設定する

写真を観ながらUSB/SD/iPodの曲を再生します。

• 写真を選びUSB、またはSDに切り替えておきます。

1 写真設定を表示する

停止中や再生中に[設定］を押す。

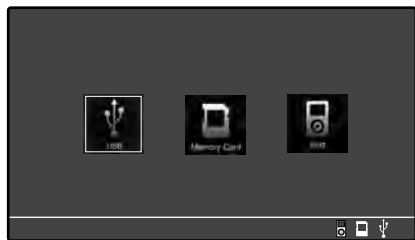
2 B.G.M.を選ぶ

[▲/▼]で"B.G.M."を選び[決定］を押す。

3 B.G.M.を設定する

[▲/▼]で"ON"を選び[決定］を押す。

4 再生するメディアを選ぶ

[I◀◀/▶▶I]で選び[決定］を押す。

5 USBかSD(Memory Card)のときは、再生する曲を選ぶ

[▲/▼]で曲を選び[決定］を押す。

■ **再生モードを変更するには ...**

手順3で"再生モード"を選び[決定］を押す。

[▲/▼]で再生モードを選び[決定］を押す。

ノーマル	通常の再生をします。
リピート1曲	再生している曲を繰り返し再生します。
リピートすべて	全ての曲を繰り返し再生します。
シャッフル	曲を順不動に再生します。
終了	メニューを終了します。

■ **設定を終了するときは ...**

[▲/▼]で"終了"を選び[決定］を押す。

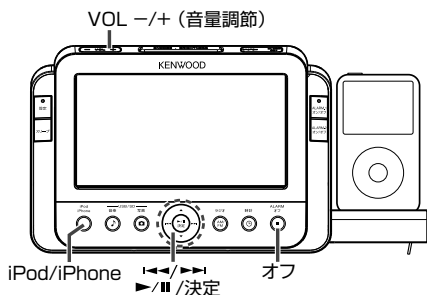
• スライドショーのときは、音楽情報は表示されません。

• 再生するメディアを変更するときは、B.G.M.の設定を一度"OFF"にして、再度設定してください。

iPod/iPhoneを聞く

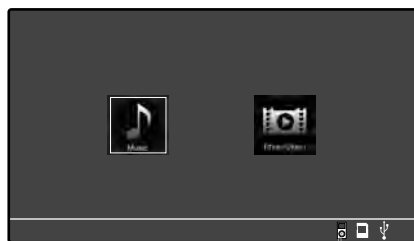
曲を聞く

iPod/iPhoneの曲を再生します。

・iPod/iPhoneをあらかじめセットしておきます。

1 iPod/iPhoneを選ぶ

[iPod/iPhone］を押す。

2 Music(音楽)を選んで再生する

[I◄◄/►►I］で選び[決定］を押す。

■ **再生中の表示例**

■ **再生中の操作**

一時停止	再生中に［►/II］を押す。 再度押すと解除します。
早送り/早戻り	再生中に［I◄◄/►►I］を押し続ける。
曲のスキップ	［►►I］を押す。
前の曲へ戻る	［I◄◄］を連続して2回以上押す。
曲の頭出し	［I◄◄］を1回押す。

■ **再生を停止するには ...**

［オフ］を押す。

・iPod/iPhoneを取り付け、または取り外しする前に、必ず本機の音量を小さくしてください。
・本機へ接続している間は、iPod/iPhoneで設定した音量は無効になります。
・再生中はiPod/iPhoneを取り外さないでください。故障の原因となります。
・iPod/iPhoneのモデルによっては、操作できない機能があります。

iPod/iPhoneを観る

写真/ビデオを観る

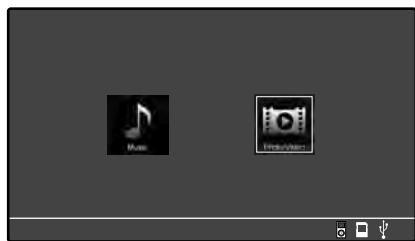
iPod/iPhoneの写真またはビデオを再生します。

- iPod/iPhoneをあらかじめセットしておきます。

1 iPod/iPhoneを選ぶ

[iPod/iPhone] を押す。

2 Photo/Video(写真/ビデオ)を選ぶ

[I◄◄/►►I] で選び[決定] を押す。

3 写真/ビデオを選んで観る

iPod/iPhoneを操作して写真/ビデオを選ぶ。

- iPod/iPhoneの操作はiPod/iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

■ ビデオ再生中の操作

一時停止	再生中に **[►/II]** を押す。 再度押すと解除します。
早送り/早戻り	再生中に **[I◄◄/►►I]** を押し続ける。

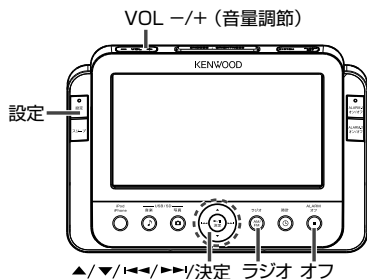
■ 再生を停止するには ...

[オフ] を押す。

- iPod/iPhoneを取り付け、または取り外しする前に、必ず本機の音量を小さくしてください。
- 本機へ接続している間は、iPod/iPhoneで設定した音量は無効になります。
- 再生中はiPod/iPhoneを取り外さないでください。故障の原因となります。
- iPod/iPhoneのモデルによっては、操作できない機能があります。

ラジオ放送を聞く

ラジオ放送を聞く

FMまたはAMの放送局を選んで聞きます。

1 FMまたはAMに切り替える

[ラジオ］を押す。

押すたびに受信バンドが切り替わります。

2 メモリーした放送局から選ぶ

[▲/▼]を押す。

押すたびにメモリーされた放送局を呼び出します。

■ **メモリーしていない放送局から選ぶには ...**

[I◄◄/►►I］を押す。

- ボタンを押し続けると放送局を自動的に選局します。

放送局を自動でメモリーさせる（オートプリセット）

受信状態の良い放送局を自動的に選び、放送局をメモリーします。

- ラジオを選びFMまたはAMに切り替えておきます。

1 オートプリセットを選ぶ

[設定］を押す。

[▲/▼]で"オートプリセット"を選び[決定］を押す。

"オートプリセット"と表示され受信状態が良い放送局がメモリーされます。

メモリーした放送局を表示する（プリセットの表示）

メモリーした放送局を一覧表示します。

1 プリセットの表示を選ぶ

[設定］を押す。

[▲/▼]で"プリセットの表示"を選び[決定］を押す。

2 メモリーした放送局を表示する

[▲/▼]でプリセット局をスクロール表示します。[決定］を押すと放送局を受信します。

放送局を手動でメモリーさせる（プリセットの追加）

受信中のFM/AM放送局をプリセット番号を指定してメモリーします。すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

• FM 20局、AM 10局分の放送局をメモリーできます。

1 メモリーしたい放送局を受信する

2 プリセットの追加を選択する

[設定］を押す。

[▲/▼]で"プリセットの追加"を選び[決定］を押す。

3 メモリーさせたいプリセット番号をFM（P01 ～ P20）/AM（P01 ～ P10）を選びメモリーさせる

[▲/▼]で"プリセット番号"を選び[決定］を押す。

• 続けて記憶させたいときは、手順1 ～ 3を繰り返します。

メモリーした放送局を削除する（削除/すべて削除）

メモリーされている放送局を全局またはプリセット番号を指定して削除します。

• ラジオを選びFMまたはAMに切り替えておきます。

1 プリセット削除またはすべて削除を選択する

[設定］を押す。

■ **プリセット番号を指定して削除するときは ...**
[▲/▼]で"削除"を選び[決定］を押す。

■ **全局を削除するときは ...**
[▲/▼]で"すべて削除"を選び[決定］を押す。

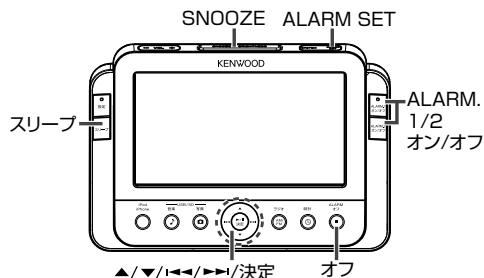
2 削除したいプリセット番号をFM（P01 ～ P20）/AM（P01 ～ P10）を選び削除する

[▲/▼]で"プリセット番号"を選び[決定］を押す。

■ **終了するには ...　[設定］を押す。**

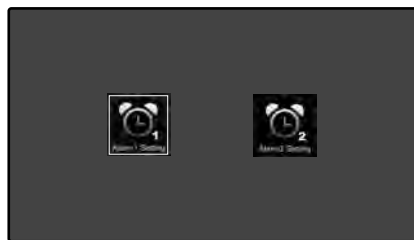
タイマーを設定する

アラームタイマーを設定する(アラーム1,2)

アラームタイマー予約で指定した時間に、ブザーやラジオ、SD、USB、iPodなどを聞くことができます。アラームタイマーは2つ設定可能です。

1 アラーム設定モードにする

[ALARM SET]を押す。

2 アラーム1か2を選ぶ

[I◄◄/►►I] で選び[決定] を押す。

3 アラーム設定項目を選び設定する

[決定]を押す。

[▲/▼] を押して設定し[決定]を押す。

アラーム時間の設定は [I◄◄/►►I] を押して項目を移動します。

■ 設定項目を移動するときは ...

[▲/▼]で項目を選び[決定] を押す。

項目	内容
アラーム時間	アラーム開始時刻を設定する
アラーム音量	"High"/"Mid"/"Low"から選ぶ (アラームサウンドで"ブザー "を選んだときは音量が一定になります)
動作モード	"毎日"/"月－金"/"週末(土・日)"から選ぶ
スヌーズ	"5分"/"10分"/"15分"/"20分"/"25分"/"30分"から選ぶ
アラームサウンド	"ブザー "/"ラジオ"/"音楽"/"iPod"から選ぶ
終了	アラーム設定を終了します

■ アラームサウンドで"音楽"を選んだときは ...

"USB"か"SD"を選択してから再生する曲を選択します。

■ アラームサウンドで"ラジオ"を選んだときは ...

アラームサウンド設定前に聞いていた放送局を受信します。

4 時計表示に切り替える

[オフ]を押す。

5 アラームタイマーを設定する

[ALARM.1 オン/オフ]または[ALARM.2 オン/オフ]を押す。

■ 設定したタイマーを解除（オフ）するときは ...
[ALARM.1 オン/オフ]/[ALARM.2 オン/オフ]を押す。

ボタンを押すたびにアラームタイマー設定をオン/オフします。

■ アラーム動作中にアラーム時間を延長するには ...
[SNOOZE]を押す。

■ アラーム動作を解除するときは ...
[オフ]を押す。

• 時計を正確な時間に合わせておいてください。「時計を合わせる」（12ページ）をご覧ください。

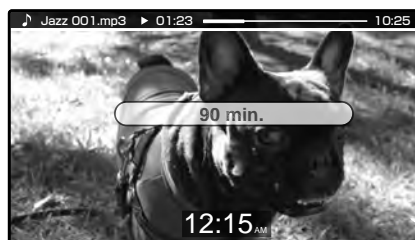
スリープタイマーを設定する（スリープ）

曲を聞いている最中や聞く前に、スリープタイマーを設定すると、設定時間後に再生を終了します。

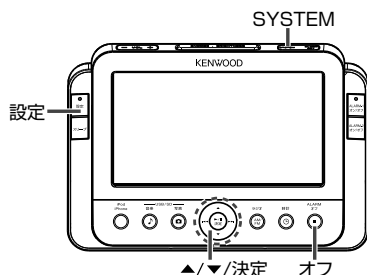
• あらかじめ表示モードを時計に切り替えておきます。（13ページ）

1 スリープタイマーを設定する

[スリープ] を押す。

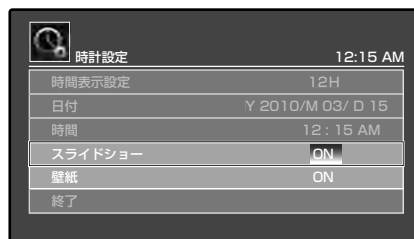
押すたびに設定時間が切り替わります。

本機の設定を変更する

スライドショー /壁紙を設定する（スライドショー /壁紙）

時計表示のときの壁紙を設定したり、写真をファイル名順に再生（スライドショー）することができます。

1 時計設定モードにする

[設定］を押し時計設定メニューを表示させる。

[▲/▼]で"スライドショー "または"壁紙"を選び[決定］を押す。

[▲/▼]で項目を選び[決定］を押す。

スライドショー	時計表示のときにスライドショーのオン/オフを設定します。
壁紙	時計表示のときに壁紙表示のオン/オフを設定します。

■ **壁紙を選んだときは ...**
"USB"か"SD"を選択してから壁紙にする写真を選択します。

■ **設定を終了するときは ...**
[▲/▼]で"終了"を選び[決定］を押す。

• スライドショーは、壁紙で設定したUSB機器またはSDカード内の写真が再生されます。

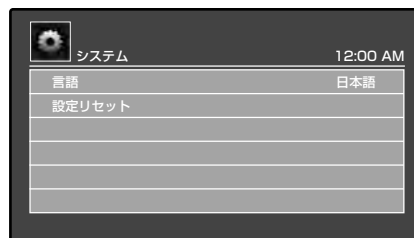
言語を切り替える/本機をリセットする（言語/設定リセット）

本機の使用言語を切り替えたり、本機の設定をリセット（お買い上げ時の設定）できます。

1 システム設定モードにする

[SYSTEM］を押しシステム設定メニューを表示させる。

[▲/▼]で"言語"または"設定リセット"を選び[決定］を押す。

[▲/▼]で項目を選び[決定］を押す。

言語	表示される言語を日本語または英語に切り替えます。
設定リセット	本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

■ **設定リセットを選んだときは ...**
設定をリセットするときは"はい"を選択します。

■ **設定を終了するときは ...**
[オフ]を押す。

もっと使いこなす

知っておいていただきたいこと

用語集

用　語	意　味
JPEG	圧縮率はおおむね 1/10 ～ 1/100 程度の静止画像データの圧縮方式。デジタルカメラの記録画像などに使用され、写真など自然画の圧縮に効果的です。
MP3	ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG　が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約 1/10　から 1/12　の圧縮率（128　kbps 時）が得られます。
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB　1.1、2.0 に対応しています。
USB ハブ	複数の USB 機器を同時に接続するためのアダプター。
USB マスストレージクラス	大容量記憶装置として分類される USB の機器タイプのことです。ハードディスクのような大容量の記憶装置を「USB マスストレージクラス」と呼びます。
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。
WAV	Windows の標準的な非圧縮音声形式です。
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows　Media ™ Audio」の略称です。
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。
スヌーズ（SNOOZE）	アラームを一定間隔で（スヌーズ設定時間）くり返す機能です。 スヌーズボタンを押すとアラーム音がいったん止まりますが、スヌーズ設定時間後にふたたびアラームが動作します。
スライドショー	SD カードや USB 機器内の写真を一定間隔（スライドショー間隔設定）で次々と表示をしていく機能です。
ビットレート	1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。

メッセージ表示一覧

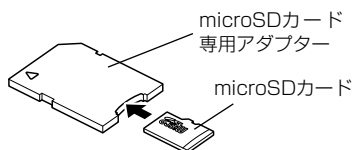
ディスプレイ表示	意　味 / 処　置
iPod/iPhone が接続されていません	iPod または iPhone が接続されていない。 接続を確認する。
機器が接続されていません	SD が挿入されていない。または USB 機器が接続されていない。 接続を確認する。
ファイルが壊れています	本機で再生できないファイルを再生しようとした。 再生できるファイルは「再生できるファイル」をご覧ください。(26 ページ)

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

SD

メディア：SD/SDHCカード/miniSD™カード/micro SD/SDHCカード

- 512MB～32GBのSD/SDHCカードが使用できます。
- miniSD/microSDカードは専用アダプターが必要です。
- mini SD、micro SDカードは、市販の専用アダプターに取り付けてから使用します。挿入方向はSDカードと同じです。

USB

メディア：USBフラッシュメモリー /USBマスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー

- 本機の ⭠(USB)端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
- USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。
- ⭠(USB) 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

再生できるファイル

本機は以下のオーディオ/画像ファイルが記録されたSD、USB機器を再生できます。

MP3 (MPEG 1/2 Audio Layer 3)

拡張子：.mp3
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32/ 24/ 22.05/ 16/ 12/ 11.025/ 8 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps

WMA (Windows Media Audio)

拡張子：.wma
サンプリング周波数：48/ 44.1/ 32 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

WAV（リニアPCM）

拡張子：.wav
サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化ビット数：16 bit
チャンネル：ステレオ、モノラル

JPEG (画像)

ファイルフォーマット：JPEG
拡張子：.jpeg / .jpg

- プログレッシブJPEG、CMYKカラー形式のJPEGは対応していません。

SD/USB対応ファイルシステム

FAT16
FAT32

ファイル数制限

最大フォルダ数：255
最大ファイル数：999

表示できる最大文字数

ファイル名：全角125文字/半角255文字（拡張子含む）

- 表示できない文字は正しく表示されないか、または空白になります。

その他の注意事項

- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。
- ファイルのファイル名には正しい拡張子を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオ / 画像ファイルでないものには拡張子を付けないでください。拡張子については、「再生できるファイル」をご覧ください。

iPod/iPhoneについて

使用できるiPod/iPhoneについて

- 本書で断りの無い限り、"iPod"と呼んでいるのは本機のiPod取付部に接続されたiPodおよびiPhoneを指します。
- 本機に接続できるiPod/iPhoneは以下の通りです。
（2010年2月現在）

Made for

- iPod (4th generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (1st generation)
- iPod touch (2nd generation)

Works with

- iPhone 3G
- iPhone 3GS

免責事項について

- SDカード/USB機器/iPod/iPhoneの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

❶ オフボタンを押してからSDカード/USB機器/iPod/iPhoneなどの外部機器を取り外します。

❷ 数秒間待ちACアダプターを取り外します。

❸ AMループアンテナを取り外します。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	・コードを正しく接続しなおす。 ・音量を上げる。	9 10
時刻が表示されない	・時計を設定する。	12

チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	・アンテナを接続する。 ・受信バンド（受信モード）を合わせる。 ・受信したい放送局の周波数に合わせる。	9 20 20
雑音が入る	・外部アンテナを道路から離して設置する。 ・本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。 ・テレビから離す。	—
プリセット局が表示ができない	・もう一度、自動で放送局をメモリーする。 ・受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	20 21

USB/SD/iPod、iPhone部

症　状	処　置	参照ページ
SD を挿入または USB フラッシュメモリーや iPod、iPhone を接続しても音楽、写真または映像が出ない	・USB フラッシュメモリー / SD /iPod/iPhone を正しく差し込む。 ・USB ケーブルを正しく接続する。 ・USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	11 11 —

本機をリセットするには

症　状	ここをご確認ください・処置
本機が誤作動する（操作できない、表示部の誤表示など）	電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤作動することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。 ❶ SDカード/USB機器/iPod/iPhoneなどの外部機器を取り外ます。 ❷ ACアダプターを取り外し、数十秒待ってからACアダプターを取りつけます。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2010年2月現在

北海道			
札幌サービスセンター	〶 004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29	☎ (011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〶 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 斎喜センタービル1F	☎ (022) 288-3538

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〶 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	〶 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7171-3800
横浜サービスセンター	〶 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〶 950-0913	新潟市中央区鐙あぶみ1-5-23	☎ (025) 245-2177
大田サービスセンター	〶 146-0082	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1階	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターにて承ります。			

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〶 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〶 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〶 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〶 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	〶 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〶 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州			
福岡サービスセンター	〶 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡１F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〶 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 パレス鴨池1F	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〶 901-2101	浦添市西原4-36-17 (株)物琉2F	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

カスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960　　FAX 045-450-2287
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

定格

[表示部]

液晶画面……………………………………… 7型 TFT駆動
表示アスペクト比…………………………………15：9

[アンプ部]

実用最大出力……… 1.5 W + 1.5 W（JEITA 8 Ω）

[チューナー部]

FMチューナー部
　受信周波数範囲 ………… 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AMチューナー部
　受信周波数範囲 ………… 531 kHz ～ 1,602 kHz

[USB部]

対応USB機器 ……… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェース… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32
供給電流………………………………… 最大500 mA

[SD部]

対応SDカード
…………SD/SDHC、miniSD、microSD/SDHCカード
mini SD/micro SDは専用アダプタが必要です。
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32

[スピーカー部]

スピーカー…………………………… 40 mm コーン型

[電源部・その他]

付属ACアダプター
………………DC6V（AC100 V、50 Hz/60 Hz）
定格消費電力（ACアダプターを含む） ………… 15 W
最大外形寸法……………………………… 幅 220 mm
（iPod差し込み部オープン時）幅 295 mm
高さ 157 mm
奥行 100 mm
質量（重量）……………………………… 0.8 kg(正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- TFTディスプレイは、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示（画素）が存在することがあります。（故障ではありません。あらかじめご了承ください。）
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。 VCCI-B

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
土曜日　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
※ 日曜、祝日及び当社休日を除く

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8960**
- FAX **045-450-2287**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3